

日本写真印刷株式会社
「2017年3月期第3四半期決算説明テレフォン・カンファレンス」
質疑応答の概要
(2017年2月9日開催)

Q1. 第3四半期(3カ月間)の設備投資・減価償却費・研究開発費は?

A1. 下表のとおり。

	第3四半期(3カ月)実績
設備投資額	約30億円
減価償却費	約20億円
研究開発費	約6億円

Q2. 為替感応度を教えてほしい。

A2. 第4四半期(3カ月間)における為替感応度は、1円/米ドルの変動につき約1億円(営業利益)。

Q3. 産業資材事業の用途別の概況を教えてほしい。

A3. 第3四半期の実績、第4四半期の見通しともに、従来の想定に比べて、携帯電話の需要が減少する一方、ノートパソコンの需要が増加している。しかし、これらは短期的な需要の変動であって、中長期で見ると自動車および蒸着紙が安定的な成長分野として産業資材事業を牽引するという状況に変化は生じていない。

Q4. 今回公表された通期業績予想の下方修正には、デバイス事業における開発費用の増加が大きく影響しているようだが、この開発費用とはどのようなものなのか?

A4. 主力のデバイス事業において新たな事業機会が生じており、この機会を取り込むために製品開発や工場の立ち上げに向けた準備に着手している。この事業機会が業績に寄与するのは来期以降と見込んでいるため、今期は先行して費用のみが発生している状況。

以 上